No.241 2005 7月 平成17年
波紋
PUBUSHER:森松株式会社 EDITOR:梅田文康

成功させよう! 愛・地球博 Exposition of Global Harmony

優勝サークル　7UP

テーマ名「アニマル西垣　気合だ!」

アニマルとは、アニリングのアニとリング（マル）によるアニリング（収縮取り）方法について営業及び現場による違った視点により知恵を出し協力し改善意識の向上や効率UPを考え取り組みました。

収縮を取る方法及び設定温度については錦見顧問のアドバイスを頂き、従来の方法から効率UPを目標意識し、保温方法から棚作りまで、営業さんの知恵やノウハウをいただいたおかげにより作業（アニリング棚【写真】）効率が非常に良くなりました。ありがとうございました。

発表者　西垣 浩司

作業風景

改善前

改善後

『モノ余りの時代』

社長　森　直樹

モノ余りの時代、だから多極化、細分化である、というアドバイスを頂きました。

確かにモノの無かった時代には鉛筆もノートも、それが最低限の機能を満たしてさえいればどんなデザインでも良かったはずです。そして現在、一つの鉛筆を求めて専門店に行けば、やはり安い価格で販売している鉛筆も有る一方、昔では想像もつかない価格で売られている鉛筆もあることが確かです。

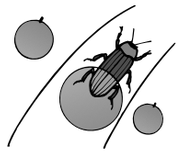
つまりどのような商品を購入するかは何をおいてもお客様次第。値段が安く、最低限の機能のもの、素晴らしい品質とそれに見合った価格のもの、選択の幅は時代を追うごとに広がっております。その両対極に位置するのが「100円ショップの商品」と「ブランド品やオーダー品」ではないでしょうか。今後も国内で製造されるモノとは後者ではないでしょうか。集団に対して「個」の時代といわれる現代、このような多極化、細分化は、あらゆる分野において表れていると思います。

消費の原動力となる国内人口はすでに昨年より減少に入りました。その中での細分化、ということはますますの競争の激化と、各企業の戦略にも多極化細分化が出てくるということになります。言い換えれば、そこにこれまでに無い形態の生産体制、販売方法、そして商品が出てくるということでしょう。個の時代に対応するには、個々の発想や動きを敏感に察知することの出来る視点が大切ではないでしょうか。

希望の持てる会社とはこの二つを存続できる会社。つまりどんな業界業種であれ改善を繰り返し生き残る、変化の出来る会社でなければならないでしょう。

naoki@morimatsu.net

2005年7月の予定



1日(金) 加藤先生来社
2日(土) 第1土曜休み
3日(日) 黒松　康郎さん誕生日
4日(月) 面接日
5日(火) タツタ新商品発表会 17時00分～18時00分
7日(木) ISOT国際文具展 東京ビックサイト（9日まで）
9日(土) 第2土曜休み
15日(金) 羽場　昭三さん誕生日
16日(土) 第3土曜休み
18日(月) 海の日
長崎　修さん誕生日
22日(金) 編集会議 18時00分～
経営会議 7時30分～
営業会議 15時30分～
23日(土) 森　伸子さん誕生日
テックトランス社来社
25日(月) 生産会議 18時00分～
30日(土) 第5土曜休み

パートさん紹介

初めまして。　川崎と申します。

昨年12月20日よりお世話になって6ヶ月目になります。家族構成は、夫と小5と小6になる男の子の4人家族です。夫の転勤で大阪から6年前名古屋に来ました。

とても家庭的な雰囲気の中で仕事面においても今までいろいろ自分が気付けなかった課題が見つかるなど･･･たくさん学ぶ事が多く、内外共に刺激を受けながら毎日仕事をしています。

仕事面では、まだまだご迷惑をかける事が多くありますが早く皆さんのお役に立てる様に頑張りますので、今後共宜しくお願い致します。

川崎 文江（営業部）

若々しく元気はつらつ！な義父。主婦業を完璧にしてきた義母。やさしさ、おもいやりが一番大切という夫。野球が大好きでおしゃれな･･受験生だというのに能天気な息子。コツコツ努力型でお笑いが大好きな陽気な中1になった娘。家族の観察力は一番（？）ミニチュアダックスのボブ。おっとり　癒し系　柴犬のケンタ。《ダイエット》と見ればすぐに生活に取り入れ体質改善にこころがけている私です。（たべたーい…でも　やせたーい）という個性豊かな6人と2匹の家族です。

こんな家族に囲まれ休みは長男の野球に朝早くから夕暮れまで振り回され、健康は食からと常々義母に言われ、家族の健康の為に（？）なかなか手抜きの出来ない毎日。子育は親を成長させる。本当に！成長しているかは別として、いろいろ勉強させてもらっています。頭が硬くならないようにみなさんからいろいろ吸収させてもらい努力していきますこんな私ですが、よろしくお願いします。

大見延子（総務部）

『予選突破』

梅田文康（ロジスティックス2005）

6／8（水）、サッカーの06年W杯ドイツ大会出場に王手をかけていた日本代表は、アジア最終予選B組の北朝鮮戦に2―0で快勝し、1試合を残して3大会連続の出場を決めました。前回大会は、自国開催で予選免除だった為、予選突破はフランス大会の97年11月以来8年ぶり2回目となりました。

94年大会のロスタイムでのまさかの失点98年大会のゴールデンゴールなど、アジア最終予選には本大会にも勝るドラマがあり、どれも最後の1試合までもつれる展開でした。

それに比べて今大会は比較的楽に勝ち抜けた感もありますが、出場は決めたものの現時点では無敗のイランに続く第2位。アジアの出場枠が広がった為、掴めた本大会出場の切符という見方もできます。94年大会も98年大会も最終的にはアジアで3位。94年はアジアの出場枠が2国だった為、予選落ち。98年は出場枠が3国（プレーオフを除き）に広がった為、本大会へ初出場。出場枠の拡大で結果が変わりました。

今大会の出場枠は4国。韓国が02大会で世界のベスト4に入るなど、アジア全体のレベルが上がったと言えばそれまでですが、出場枠が広がっていなくても文句無しの突破だったと言えるように、8月にホームで行われるイラン戦には必ず勝って今度こそ1位で突破をしてほしいものです。

『残念無念』

森　信之

愛知万博の入場者が７５０万人を超えて予定を上回る見学者数です。森松も社員・パートさんに入場券を配布し、特別休日も設けて、今世紀内に日本で開催されるか？名古屋でもう二度と開催される事は無いだろう万博に、社員全員がシッカリ心に焼き付けていただけたら良いなあと思っています。

４グループに分かれて社員全員が見学していますが、出かける前に会社玄関で会った中堅幹部に声を掛けました。「今日はなにを」番に見るのですか？」その幹部は「○△館へ」番に行きます」。私は、「○△館の何を見に行くのか？そこが混んでいたら、次に何を見たいのか？」を質問しました。彼は　何も次の予定は考えていませんでした……。ガックリ。

万博見学も慰安旅行も仕事も遊びも段取りが大切ですよね、何も考えないで、金魚の糞のごとく付いて回りばかりの人生で面白いのでしょうか？毎月、毎週、『優先順位・仕事は段取りで80％決まる』波紋・朝礼・会議などで説明してきたはずなのに、少しも理解してくれてない、私にとって、とても悲しい一日でした。

経営者の社員指導・育成が下手で悪いと、こうゆう事になってしまうのだ。自己嫌悪に陥ります。彼に再度聞きました。「誰が○△館を推薦してくれたのか？」と。小学生の子供ですと返事がきました。

（社内の共有ファイルに万博ニュースや、各パビリオンの特徴・特色・内容が書き込まれたサイトがあります、また万博担当委員の加藤さんに聞くのが一番ですが、社内情報も活用・利用もしていないということか、（ー，ー；）

小学生低学年の子供の言う事は聞くのですね、マタ、またガックリ。次に言う言葉が見つかりませんでした。残念無念、反省、猛省。私はいったいこれまで何を彼に伝えてきたのか？？？　＃＃＃

『デイトレード』

村田恒夫　（直列六気筒）

書店の「株」コーナーは今、花ざかり！『株―1年4か月で2億円稼いだ私の短期回転売買術』『短期売買で毎週給料日にする！』『株のデイトレ革命で毎日1万円おこずかい稼ぎ』『東大生が書いたやさしい株の教科書』…。

ペイオフ解禁、ネットでの株式売買の取引手数料が安価になり、この低金利時代による余剰資金（？）が株式市場に流入しているのかな？と感じます。最近、「デイトレード」という言葉をよく耳にしますが、デイトレードとは、パソコン画面で各銘柄の板（株取引の基本になる売りと買いの注文の数を示した表）を数秒間で百万円単位の株を売買することと。デイトレーダーは、パソコン画面で、各企業の板を見て、値上がり気配の株を見つけ出す。朝9時から10時までの間に、100回以上の売買を繰り返し、わずか1時間で1日分の儲けを出す（1時間が限界、それ以上は集中力が続かない：10時を過ぎると株価の動きが一段落し旨味がなくなる）。

１０００万円の自己資金で1日（1時間）5万円の儲けを出す。デイトレーダーは、板用、チャート用、注文用と、最低3台のモニターを目線の動きが最小限になるように自分の周りにセット。デイトレーディングは、パソコンと電話回線さえあれば、誰でもどこでもできる。但し、実際の話、儲けを出しているデイトレーダーは全体の1割。世の中、そんなに甘くありません。

『クーラー病』

光田昭男　（直列六気筒）

6月上旬、朝6時30分、車の窓を空けて爽やかに出勤するが、事務所の温度計が30度を差している。さすがに暑い！窓を全開し、室内の空気を入れかえるがやはり暑い。

私は、暑いのは強い方なので良いのだが、暑いのに弱い人は辛いと思う。体感温度も三者三様だが、身体のことを考えるならば、不快な暑さは避けなければならないが、多少は暑く感じられる位が、体調には良いと思う。

私は体調を考えて、4年程前から、猛暑が続かない限りは冷房無しで、扇風機のみで睡眠を取っていますが、夏場も体調を崩すことが減っていることを実感しています。

クーラー病とは大きなくくり方をすれば、自律神経失調症となるそうです。クーラーが無かった我々の子供のころは、身体が自然の環境に対応していて夏は暑いのに耐えられる、冬は寒さに耐えられるというような状況だったが、世の中が進歩してクーラーが普及して、自然への適応能力についていけず、体調を崩すこととなってしまう気がします。

体調管理の為に、事務所も工場内も冷え過ぎに注意してください。

万博見学会

万博が開催されてから3ヶ月が経とうとしています。
今回、モーリングループでは4班に分かれ万博見学会を行いました。

第2班
マンモスラボの
クジに当って新聞を
作ってもらいました。

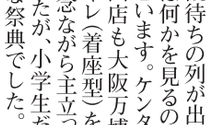
森松㈱さん一行　笑顔の万博

「愛・地球博」グローバル・ハウスの読売新聞編集センターを訪れた　森松㈱さん一行

愛知県名古屋市民月後通、森松㈱さんが、四日、愛知県扶久手町で開かれている「愛・地球博」のシンボルパビリオン「グローバル・ハウス」にある読売編集センターを訪れた。行は自分たちの写真が載った「読売地球新聞・記念版」を手に、「万博見学の一番の思い出になる」と大喜びだった。

一行は、この日、万博会場を訪れ、最大の話題パビリオン「愛・地球博」を訪問、マンモス展の前にある読売編集センターに立ち寄った。

一瞬のうちに、リアルなマンモスのCGイラストに自分たちの写真が貼り込まれて印刷、レミネートされ、「まるでマンモスの仲間にタイムスリップしたみたいだ」と風雨に見入っていた。



【マンモス】氷河時代、長いものは今でもいるウワの仲間として有名。数十万年前からユーラシア大陸や北米などに生息し、約1～2種類の仲間がいた。地球温暖化に伴い絶滅。今では、そのクローキャ成を使い、ブース内でお客様の写真を撮ったら、あらかじめパソコンにセットしたマンモスのイラストと合成し、印刷している。入館の映像を抜き取るには、色彩的効果から、普通、撮影の直近に青の布地を使う。

背景の青色に秘密

【クロマキー合成】写真に撮った映像を、そのまま抜き出して、他の像には重ね合わせる。例えば、ニュース番組で、「そのクロマキー合成を使い、ブース内でお客様の写真を撮ったら、あらかじめパソコンにセットしたマンモスのイラストと合成し、印刷している。入館の映像を抜き取るには、色彩的効果から、普通、撮影の直近に青の布地を使う。

『35年前の大阪万博』

成瀬勝英　（ロジスティックス２００５）

小学6年頃の事。叔父の家族と車で連れて行ってもらったのですが当時近所でも車を所有している家が珍しく、まして大阪までの長距離など経験も無い事で、期待で前日眠れなかった記憶があります。あの時の万博の盛り上がりは今の地球博とは比較にならないでしょう。

大阪万博を遡る事6年前の１９６４年、アジアで始めてオリンピックが開かれました。東京オリンピックです。戦後、海外渡航（海外旅行）が日本に許されたのがこの時期で、ヨーロッパ16日のパック旅行の費用が６７５、０００円だったとか、当時大卒新入社員の初任給が２３、０００円といいますからその約30倍。現在なら５、８００、０００円程、掛かる計算になります。家を買うか海外旅行にするかぐらいの選択だったという事をラジオの当時を振り返る内容の番組で言っていましたっけ。（海外旅行なんて夢だった時代）そして大阪万博の前年１９６９年に人類初月面着陸をアメリカが成功させ、その月の石がアメリカ・パビリオンに展示された事で連日2時間～3時間の拝観待ちの列が出来た事がニュースになりました。

思えば何かを見るのに時間単位で待つのもこれが始めてだと思います。ケンタッキーフライドチキンやマクドナルド等の出店も大阪万博が初めてと聞きますし、何より洋式トイレ（着座型）を見るのも一般国民は初めてだったとか。残念ながら主立ったパビリオンを見ることは出来ませんでしたが、小学生だった自分にも未来を予感するには十分な祭典でした。数々の相乗効もあり大盛況の内閉幕しました。

あれから35年、当時の少年が夢見た未来とは少々違いますが日本は豊かにはなりました。そして現在の愛・地球博、テーマが愛。良いテーマですね。実はまだ行ってないので比較は出来ませんが当時を振り返り期待しています。

え？会場入りも大行列。入館するのに3時間～4時間当たり前！？それってあれから余り進歩してないって事・で・す・か？